



勝間田幹也 議員  
| 改新 |

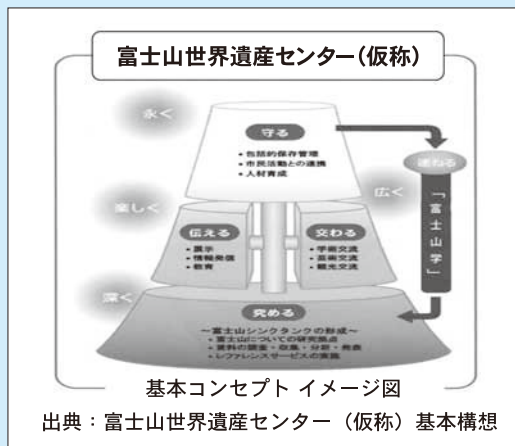
「富士山世界遺産センター」誘致について

静岡県が計画している『富士山世界遺産センター』（仮称）は富士山を後世に継承するための拠点となる施設であり、国内外からの来訪者を迎える主要施設となる。これを誘致することで、御殿場市が目指す観光ハブ都市構想へ寄与するものと期待する。

**問** 『富士山世界遺産センター』の誘致に対する市の取り組みについて伺う。

**答** 県は昨年候補地の調査を行い、当市は富士山樹空の森周辺を含めた御殿場リゾート富士の郷を候補地として報告している。『富士山世界遺産センター』が当市に加わり既存施設と連携することで富士山の一大テーマパークが実現する。これにより一層の来客が見込まれ地域振興や経済の活性化につながる。県のスケジュールは、今年度

中に基本計画が策定され建設予定地等が決定される。市としては、あらゆる機会を通じ誘致に積極的に取り組んでいく。



鳥獣被害防止対策について

野生鳥獣による農林産物の被害が深刻化している。

**問** 被害の現状をどう捉えているか、対策をどのようにとっているか伺う。

**答** 年々、シカやイノシシなどの有害鳥獣の被害は増加している。侵入防止電気柵を設置しているが根本的な解決に至っていない。今後、関係機関と連携し一斉捕獲を進め、有効な鳥獣被害防止対策を実施していく。



神野義孝 議員  
| 市民21 |

富士山火山防災の具体的対策について

富士山は宝永噴火以来約300年間噴火がなく、噴火への備えは大きな恵みを受けている市民の責務であり、危機感があるため、具体的対策について伺う。

**問** 監視・情報伝達体制の状況及び噴火の具体的な避難計画作成の方向性については。

**答** 気象庁等が富士山周辺で地観測データは気象庁の火山監視・情報センターに収集され、噴火警報・予報が自治体等に伝達される。市は同報無線、ホットメール、ラジオ放送等で市民に通知。富士山火山防災計画は、平成25年夏頃までに見直し完了予定。噴火のケースに分けた対処等の検討、富士山火山防災対策協議会の広域避難の総合調整及び県・近隣市町村・自主防災組織と調整し計画を策定する。

**問** 富士山噴火による避難を想定した新たな災害相互応援協定については。

**答** 富士山火山防災対策協議会等の避難対策と連携し、遠隔地の自治体との協定締結を検討。

**問** 降灰時の道路啓開体制の整備の具体的対策については。

**答** 基本的に緊急輸送路指定の東名、国道、県道、市道、その後、避難地や病院に通じる道路、一般市道の順に啓開する。

**問** 富士山火山防災知識の普及・啓発の考え方及び具体的対策については。

**答** 富士山の恵み・活火山の仕組みを理解し、正しく恐れ、富士山との共生を念頭に、訓練、出前講座、広報等で普及・啓発を行う。



富士山の大きな恵みと防災への備え